

人物ドキュメンタリーの制作活動を取り入れた情報デザインの実施

東京都市大学附属中学校・高等学校 神藤 健朗

高校2年文系必修履修科目（学校設定科目）として設定している「情報デザイン」（週1時間）の実践について報告する。人物ドキュメンタリーの制作というテーマで、年間を通して「予告編発表、チラシ作成、本編発表、三つ折りリーフレット作成」を行った。また、人物の人生から学び取った何かを生徒自身の進路に結びつけて欲しいという気持ちも込め授業を行った。

1. はじめに

2007年度中学入試より本校の完全中高一貫体制がスタートし、それに合わせて中高一貫カリキュラムの見直しが行われた。そのカリキュラムにおいて、2011年度の高校2年文系選択者に対して、「情報デザイン」（学校設定科目）の科目が設定され、週1時間実施することとなった。当初「プレゼンテーション」という名称で実施する予定であったが、本校では中学2年「情報」および高校1年「情報A」においてプレゼンテーションを行っている。高校2年時において更に実施するのは生徒も慣れてしまうため、目的を明確にして実施するほうが生徒のためにもなると考えた。

使用する教材やテーマについて悩んでいたところ、TWICE PLANの扱っている教材「LIFE01」（人間ドキュメンタリー制作）が今回の取り組みに使えるのではないかと考え話を伺った。教材の中で行っている予告編発表および本編発表においてグループワークによる発表活動が行える。また、教材外の取り組みとして予告チラシ作成および三つ折りリーフレットの作成を組み合わせることで、「情報をいかに整理しデザインするか」考える活動を行うことができる。合わせて自分の進路について悩んでいる生徒が、著名人の生き方から何かを感じてくれればという思いもあり、人間ドキュメンタリー制作を柱にした。

2. 授業実践

授業の流れについては、「予告編発表（グループワーク）2分」「チラシ作成（個人作業）A4片面」「本編発表（グループワーク）10分」「三つ折りリーフレット作成（個人作業）A4両面」とした。

まずは人物について広く浅く調べながら作業を進められる「予告編発表」「チラシ作成」を入れることで、短時間で人物の概要をつかむことができると考えた。また、「本編発表」「三つ折りリーフレット作成」においては狭く深く調べた結果が成果物に現れればと考えた。この流れは、生徒自身が映画館での映画上映で目にするものと同じであ

り、イメージしやすいとの考えもある。

しかし、週1時間の授業のため、約25時間程度で全体を計画しなければならないことが非常に難しかった。時間の厳しい中、生徒たちはお互いに協力しながら作業を進めていた。

2.1 予告編発表（グループワーク）

初回授業のガイダンスの際にチーム分けを行った。年間の授業内容および目的について簡単に説明した後、4～6人のグループに分かれ自分たちの扱う人物について考えさせた。人物リストについてはTWICE PLANにお願いし、その中から生徒たちは人物を選択した。

なお、各グループの選択した人物は、「ウォルト・ディズニー（4）、ラインホルト・メスナー（2）、イビチャ・オシム（2）、オノ・ヨーコ（2）、ステイブ・ジョブス（2）、松下幸之助（2）、ジョン・ウッド、ボブ・ディラン、ウォーレン・バフェット、マザー・テレサ」であった。なお、（）内の数値は選択したチーム数である。

予告編の発表（発表時間：2分）

準備作業① 4月21日	予告編で紹介するポイントを絞りながら人物に関する資料を収集する。
準備作業② 5月12日	集めた資料を参考に2分で発表できるように素材を加工し、スライドを作成する。
リハーサル 5月26日	2分で発表できるようにリハーサルを行い、伝えたいポイントを明確にする。
予告編発表 6月2日	他のグループの発表を見て、相互評価を行う。
チラシの作成に備えて、写真等の素材を意識的に収集しておく	

図1 予告編発表スケジュール

準備時間3時間、発表1時間で授業スケジュールを設定し、予告編発表作業を行った（図1）。グループで保存できる共有フォルダをサーバー上に作成したため、生徒たちは効率よく作業分担し、発表資料の作成を行っていた。

2.2 チラシ作成（個人作業）

自分のグループで選択した人物について、チラシを作成した。三つ折りチラシの作成の際に使用

する予定である Microsoft Publisher 2010 を使用した。アイコン等は Office 系のソフト共通であるため、生徒たちは違和感なく作業を進めていた。

チラシの作成にあたって、4 時間を作業時間として割り当てた。また、本編発表に向けて興味を引くような内容を盛り込むよう考えさせた。時間が短いという生徒もいたが、限られた中でどれだけの成果物を出せるか、自分のスキルの中でできることを考えるように指導した。最後に相互評価の時間を 1 時間設定し、お互いの作品を評価した。

2.3 本編発表（グループワーク）

10 分間の本編発表に向けて、準備に 6 時間（時間数の多いクラスは 7 時間）、発表に 3 時間設定した（図 2）。準備の 3 時間目に本編作成方針（発表の中での時間配分や取り扱うエピソード等）をグループごとに確認し、広く浅い発表にならないよう注意した。

今後のスケジュール(本編発表10分)

	D組	E組	F組
準備 10月6日は 短縮授業	9月15日 ～ 11月17日 (7回)	9月15日 ～ 11月10日 (7回)	9月15日 ～ 10月20日 (6回)
中間報告	9月29日:本編作成方針について3分		
追加作業日		11/16[水]放課後	11/11[金]放課後
本編発表	11月24日 12月1日	11月17日 11月24日 12月1日	11月17日 11月24日 12月1日
提出物	1. 発表原稿 2. 発表スライド		

図 2 本編発表スケジュール

2.4 三つ折りリーフレット作成（個人作業）

チラシ作成の際と同様に Microsoft Publisher 2010 を使用して、三つ折りリーフレットを作成した。時間数の関係もあり、作成に 5 時間、相互評価に 1 時間設定した（図 3）。

作成の流れ(計5時間)+相互評価1時間

1/12	作成意図の検討 & ラフスケッチの作成
1/19	レイアウトの大枠を作成・色調の決定
1/26	図・写真・タイトル・文章のレイアウト
途中状態の作品を印刷（ファイル名：リーフレット）	
2/9	文章の作成
2/16	全体の最終調整 【この時間に完成】
2/23	相互評価

図 3 三つ折りリーフレット作成スケジュール

作成途中の状態を印刷することで RGB と CMYK の違いに気づき、色調の再調整をする生徒がいた。また、文字の配置・画像の配置など全体のレイアウトを意識して作品を調整していた。

3. 結果

各チームそれぞれ違った視点で人物を取り上げ、発表資料をまとめていた点は非常に興味深かった。他チームの活動から、生徒自身が違いを感じることができたのは大きな収穫であり、当初の目的であった「情報をいかに整理しデザインするか」について、少なくとも達成できたと考えられる。

また、最終授業において「あなたが調べた人物から、どのようなことを学びましたか。またその学びを今後どのように生かそうと思いますか。」というテーマで 400 字の感想を書かせた。マザー・テレサを担当した生徒は『人のために何か行動するとなるとつい身構えてしまいがちだが、自分のやれることをやるということの重要性を改めて教えてくれた。』、ラインホルト・メスナーを担当した生徒は『自分の信念は最後まで貫き通す、強い意志を持つことの大切さ、大変さを学んだ。』と書いていた。それぞれの人物から進路に直接つながらないまでも何かを学び取ってくれたのではないかと思う。

4. まとめ

「情報デザイン」という科目名を設定しているが、デザインの手法についてほとんど触れることができなかった。私自身の勉強不足もあり、細かい点についての指導が行き届かなかった。生徒自身は様々なパンフレットや三つ折りリーフレットを見ながら、レイアウト等を工夫していたので、デザインの観点からの技術的指導ができれば、生徒自身の知識として定着したのではないかと思う。また、今回は著作権の処理を考慮せず作業を進めた。生徒から「出典元はどのように記載すればよいですか」との質問もあり、著作権を意識した発言が見られた。次年度以降の実施に向け、授業における著作権処理の方法を検討する必要がある。しかし、選択した人物によって写真等を含めた資料の差が大きく現れるので、その点も配慮したい。

参考文献

- (1) TWICE PLAN : <http://www.facebook.com/pages/TWICE-PLAN/330118460356744>
- (2) 情報 035 コンピュータデザイン：実教出版
- (3) レイアウトデザインのルール 一目を引くページにはワケがある。：オブスキュアインク著：ワークスコーポレーション
- (4) だれでもレイアウトデザインができる本 レイアウト・文字組・配色、センスアップのコツ：樋口 泰行著：エクスナレッジ